

# 2022年 環境レポート

## 富士通アイ・ネットワークシステムズ株式会社



### FUJITSU I・NETWORK SYSTEMS LIMITED Environmental Report

当社は、南アルプス、八ヶ岳、富士山を三方に望む自然豊かな南アルプス市に位置する企業として、環境保全が企業の重要課題であることを認識し、豊かな自然を次の世代に残すことが出来るよう、地球にやさしい企業活動を積極的に推進します。



#### ごあいさつ

富士通グループでは、中長期環境ビジョンとして、『デジタル革新を支えるテクノロジーやサービスにより脱炭素社会の実現に貢献すると共に、2050年に自らのCO2ゼロエミッションを目指す』事を掲げ、その実現に向け取り組みを進めています。

富士通アイ・ネットワークシステムズは、南アルプス、八ヶ岳、富士山を周囲三方に望む豊かな自然に囲まれた中に位置し、1960年、現在の山梨県南アルプス市に工場を開設して以来、長年に亘るネットワーク機器製造の経験に培われた高品質なものづくりと、海外を含めた他社製品をインテグレーションするサービスを通じて、お客様の期待にお応えするとともに、自らもデジタルテクノロジーとデータを使った可視化の取り組みによって“変化に即応でき、環境に、人に優しいスマートなものづくり”の実現に向け進化を続けてまいりました。現在主力製品のひとつであるスマートメーター通信ユニットは電気使用量を把握、管理、最適化するために必須のデバイスとしてスマートグリッド戦略において重要な役割を果たしています。環境保全、地域活動の分野では、太陽光発電、非化石燃料への切り替え、緑のカーテン、各種断熱処理など積極的に取り組み、継続的な電力削減に努めるとともに、2013年から南アルプス市と協働でユネスコエコパークの緩衝地域である櫛形山に『山桜の森』を整備、夜叉神峠の登山道整備についても継続して参画しております。富士通アイ・ネットワークシステムズは、環境問題への取り組みを経営の最重要課題の一つとし、提供する製品・サービスと事業活動に伴う環境負荷の低減に努め、持続可能な社会の実現と地球環境保全に貢献してまいります。



代表取締役社長  
多田 真敏

#### 事業所の紹介

- 富士通アイ・ネットワークシステムズ株式会社
  - 所在地 : 山梨県南アルプス市有野3346
  - 設立 : 1943年10月18日 [株式会社長谷川電機製作所]
  - 従業員数 : 328名(連結:381名)(2022年4月1日現在)
- 主な事業内容
  - ネットワーク機器及び通信機器の製造
  - 国内・海外の各種ネットワーク製品の出荷保証とカスタマイズ
  - お客様の企画、開発計画に基づく新技術・設計・製造・試験等の提案型ビジネスの提供



環境活動／社会貢献活動

■ 2021年度の活動目標と結果報告

環境目標項目		目標値	実績値	結果
1	エネルギー消費CO2（電力+重油+灯油+ガソリン+軽油+LPG)の使用量をCO2換算で2020年度実績比5.0%削減。	1,914 t-CO <sub>2</sub> 以下	1,882 t-CO <sub>2</sub>	○
2	社会・環境課題の解決に取り組む活動に対し、資金、人材などを支援、および環境に関わる活動、SDGsの達成に貢献できる活動を実施する。	10件以上	11件	○

■ 省エネ活動

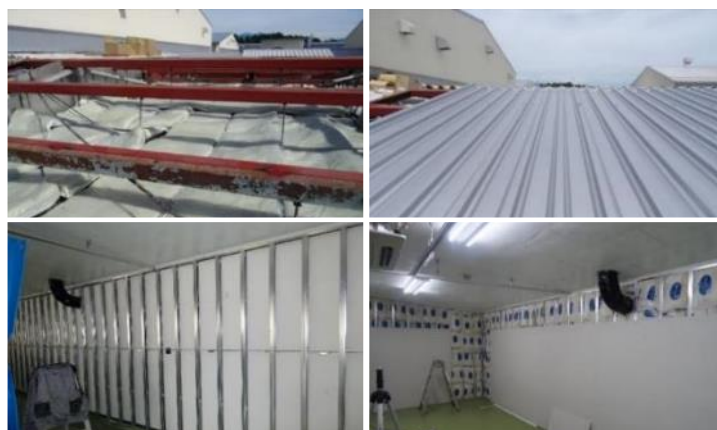
- 太陽光発電（2011年10月～）
- 空調機の集中コントロールによるピーク電力のシフト（夏/冬）
- 空調室外機遮光シート
- 建屋遮光シート
- 屋根散水機（自動化）
- 屋根特殊シート
- 建屋改修（断熱材付与）による保温効果
- 構内建屋のLED照明化（87%）
- 空調機の省エネ機器への更新
- 本業活動の中での省エネ（設備／機械の可動率向上、省エネ性能装備品への更新等）
- 緑のカーテン（2010年～12年目）  
構内4か所の建屋南面の日差しを軽減



北棟空調更新



太陽光発電（2020年：北棟に移設）



建屋改修工事  
屋根（二重断熱材+折板屋根）、内壁（下地+断熱材+ボード）

■ 再エネ購入

- 再生可能エネルギー由来の「FIT非化石証書付電力」の購入を始めました。  
年間購入量は、77.6t-co2（2021年度は前年度電力購入実績の4%）とまだまだ、ごく少量ですが、毎年4%ずつ増量し、2030年には40%を再エネにすることを目指しています。

■ 【環境／社会貢献活動】

- 協働の森「南アルプス 山桜の森」活動  
2013年に南アルプス市とグリーンパートナーズシップ協定を結び、森の成長を助けると共に自然の大切さを学習する自然環境保全活動を行っています。  
2021年度もコロナ禍のため通常の活動(学習会)は控え、当社の活動担当部門に加え、2021年4月に就任した社長も参加し、12月に森の成長を助ける活動を行いました。
  - ・ 柵周りの草刈り
  - ・ 柵ネットの補修とツタの除去



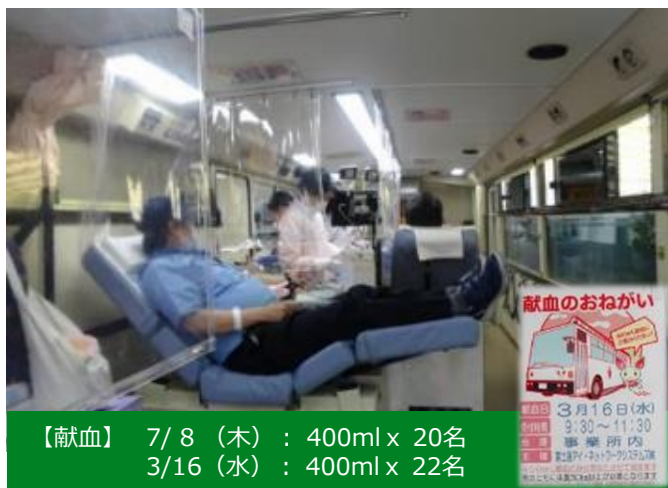
★南アルプス山桜の森

- 南アルプス市 櫛形山 高尾地内苗畑地区
- 森全体面積：4.3ヘクタール
- ヤマザクラ、モミジ



12/17（土）『山桜の森 自然環境保全活動』  
参加者：8名

- 献血への協力（2回/年）  
7月と3月にポスター掲示／全社メールの発信で協力を募り、献血バス2台を約2時間の間、構内に受け入れました。
- クリスマスイベントの開催  
コロナ禍の開催で不安もありましたが、密にならないように注意し、多くの皆さんに小さな楽しみを感じていただきました。近隣の支援学校の皆様にも夕方にお越しいただき、ゆっくりと見学されていました。



【献血】 7/ 8（木）：400ml x 20名  
3/16（水）：400ml x 22名



12月1日～26日：イルミネーション点灯【289名来場】  
24日(金)：お子様プレゼントのイベント開催

- 近隣小学校の社会見学に協力  
小学2年生「生活科 地区探検」における工場見学を受け入れました。
- 多機能型通所事業所の方に販売実習の場を提供  
事業所で製造したパンを週1回、食堂で販売しています。
- 海洋プラスチック問題解決に向けた取り組みとして、ペットボトル飲料販売の終了（構内売店・自動販売機）  
ポスターを掲示して使い捨てプラスチック削減の呼び掛け、「持ち込んだペットボトルは持ち帰る」を徹底することで、他での購入控えも期待できます。



- エコキャップ（ペットボトルキャップ）回収活動【労働組合協働】（2010年～）  
『世界の子供たちのために』という趣旨のもと、『ペットボトルキャップ回収業者』を通じて、加工売却金の一部を『JCV&ユニセフ』に届けていただいています。家庭で集めたキャップを社内回収BOXと、環境施設管理部、労働組合事務所で回収を行い、従業員家族も含めた活動となっています。
- 緑の募金活動（2013年～）  
12月の10日間を募金期間とし、部門ごとに募金箱を設置、全従業員へ呼びかけを行っています。集まった募金は、募金箱をお借りした『公益財団法人山梨県緑化推進機構』様に寄付いたしました。
- 防災備蓄品の寄付  
入替時期の近付いた防災備蓄品を『認定NPO法人フードバンク山梨』様に寄付いたしました。



回収したペットボトルキャップ

★エコキャップ運動

- 提供量・・・45.0 kg  
(約22.5千個)
- CO2 抑制・・・142.8 kg-CO2
- ポリオワクチン・・・4人分

★緑の募金

- 寄付額・・・45,075円



災害備蓄保存用パン

■【環境教育・環境啓発活動】

- 環境月間（6月）の普及活動  
垂れ幕（玄関）とポスター（構内各所）の掲示、従業員の環境月間リボンの装着、環境講演会開催など、環境月間を知ってほしいと始めた活動ですが、今では環境について考える機会として発展しています。
- 環境講演会の開催  
2021年度のテーマは、『SDGs（持続可能な開発目標）について考える』SDGsの学習会も3回目となりました。社会でもSDGsという言葉が交わされるようになり、“ジブンゴト”にするためにはどうすれば良いか、“未来のためにできること”の考え方を学ぶことができたのではないかと思います。参加者の97%が「興味がわいた」「取り組む意欲がわいた」というアンケート結果からもわかるように、よい講演会(学習会)になりました。内容の一部については、全社環境教育内でも活用し、学習を深めました。



【講師】 山梨県富士山科学研究所 農学博士 三ツ井 聡美 様

■【廃棄物削減活動】

- 分別／有価物化の推進（各職場）
- リサイクル品保管センターでの細かな分別



★主な有価物

- 半田屑／半田付きウエス
- 鉛フリー屑
- 鉄くず／線材／基板
- 廃却部品／製品／設備
- 廃ダンボール／古紙
- 捨て基板／リール梱包材(廃プラスチック)

■【業務改善による環境負荷の低減】

- ペーパーレス活動（業務スタイルのデジタル化）  
紙の使用量（廃棄）の削減、業務の効率化・保管場所の削減による電力使用量等の削減
- 外部倉庫の集約と運用の改善  
工場－倉庫間のトラック輸送の削減（エネルギー使用量・排ガスの排出削減等）  
出荷関連業務の効率化による電力使用量等の削減など

## 環境に関わる法規制の順守状況

法改正の速やかな把握により自社の事業活動に関わる法規制を確実に維持管理しています。また、法規制に基づく所轄官庁への報告、届出の実施等、法規制を確実に順守しています。

### ■ 地下水の水質検査

- 地下水：2021年4月6日と10月5日に地下水モニタリングを実施し、規制基準を順守していることを確認しています。

物質名	地下水基準(mg/L)	2021年度内最大測定値	結果
1,1-ジクロロエチレン	0.1以下	0.001未満	○
1,2-ジクロロエチレン	0.04以下	0.001未満	○
1,1,1-トリクロロエタン	1以下	0.004	○
トリクロロエチレン	0.01以下	0.001未満	○
クロロエチレン	0.002以下	0.0002未満	○

### ■ 騒音および振動の測定

- 騒音及び振動の測定を敷地境界において2021年7月26日に実施し、規制基準を順守していることを確認しています。

年 月 日	区分		自主基準値	山梨県条例値	2021年度内最大測定値	結果
7月 26日	騒音	朝	53	55	45	○
		昼	57	60	46	○
		夕	53	55	44	○
		夜	45	45	44	○
	振動	昼	55	60	30未満	○
		夜	50	55	30未満	○

### ■ フロン排出抑制法の対応

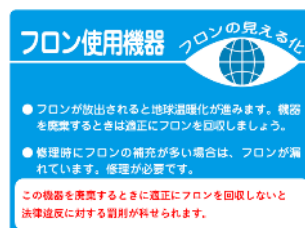
- 対象機器：空調室内機・室外機、製造設備、食堂設備等の内、フロンを使用しているもの。（家電リサイクル品は除く）
- 簡易点検／定期点検：1台ごとに点検時期を越えることなく実施し、問題の無いことを確認しています。

点検種類	点検の時期	実施年月日	点検数（台）	結果
簡易点検 1回目	3か月毎に1回	2021年 4月7日～6月17日	368	○
簡易点検 2回目		2021年 7月8日～9月14日	368	○
簡易点検 3回目		2021年 10月12日～12月15日	368	○
簡易点検 4回目		2022年 1月12日～3月9日	368	○
定期点検 対象：50kw以上の空調機	3年毎に1回	2019年7月～9月	245	○

#### ★対象機器の見える化への取り組み

フロン使用がわかりにくい下記対象設備について、右記ラベルを貼付け、見える化を実施しています。

- 冷凍・冷蔵機器
- 冷水機、給茶機
- 食堂設備
- 製造設備 等



## 環境方針

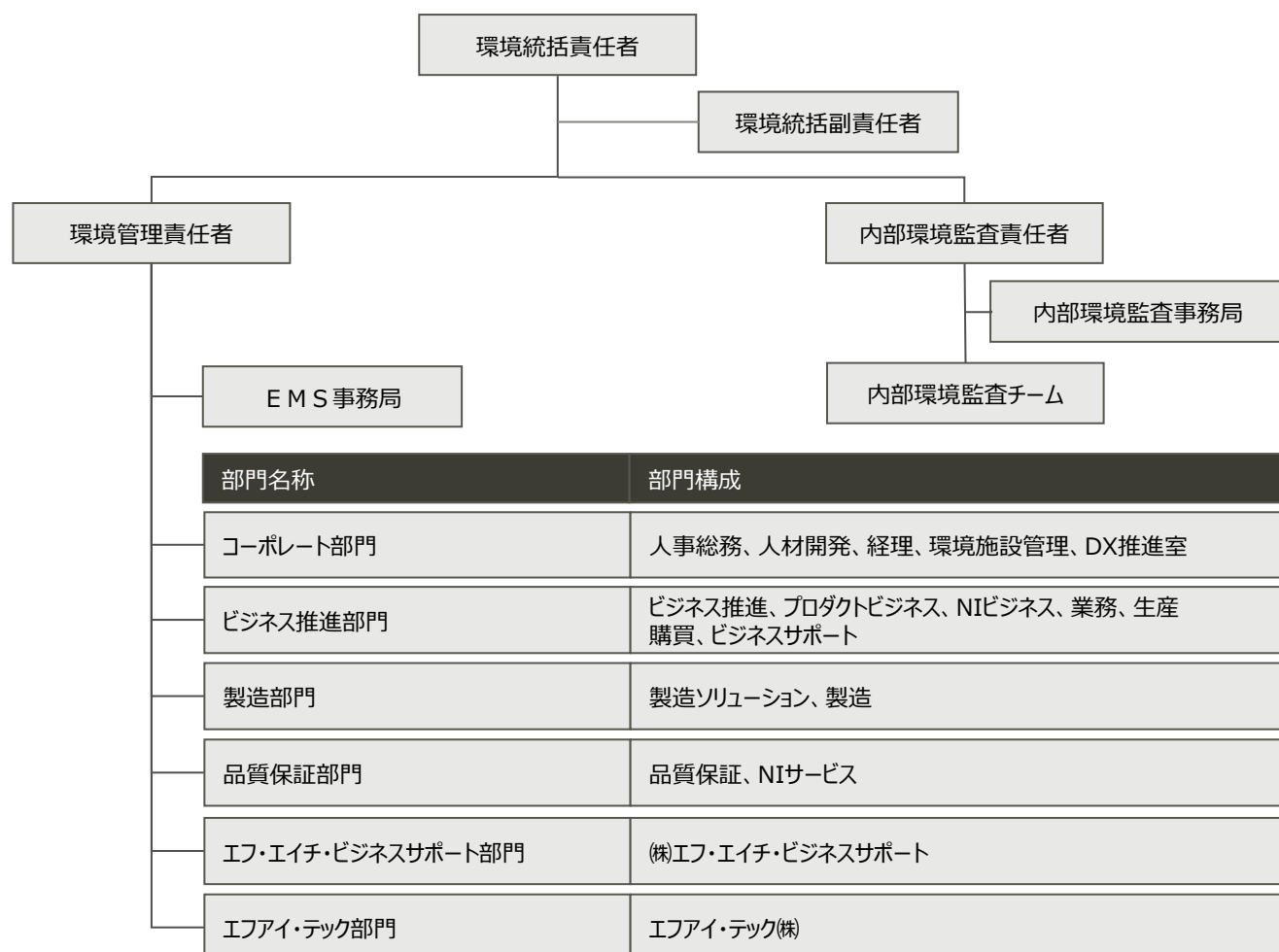
当社は、南アルプス、八ヶ岳、富士山を三方に望む自然豊かな南アルプス市に位置する企業として、環境保全が企業の重要課題であることを認識し、豊かな自然を次の世代に残すことが出来るよう、地球にやさしい企業活動を積極的に推進します。

### ■ 基本方針

1. 環境に与える影響を常に把握し、環境関連法、条令を順守します。さらに化学物質や廃棄物による汚染の予防や生物多様性保全を始めとした地球環境保全活動に努めます。
2. ISO14001に準拠した環境マネジメントシステムを構築し、環境により良い事業活動を推進するとともに、継続的な維持改善を実施します。
3. 温室効果ガス排出抑制計画チャレンジ事業者として、「山梨県地球温暖化対策条例」に基づいた取り組みを行います。
4. 富士通グループ環境行動計画に基づく事項（i）と独自事項（ii）について重点的に取り組みます。
  - i 温室効果ガス排出量の削減
  - ii 社会貢献/環境啓発活動の推進
5. 上記重点項目を具体的に推進するため環境目標を設定し、組織的活動により達成を目指す取り組みおよび見直しを継続的に行います。
6. この方針は、教育・社内広報活動を通して当社内での業務に従事する全員に周知を行い、環境意識の高揚を図ります。

## 環境活動に対する対象組織

■ 組織構成は3社、派遣を含む406名（2022.4.1時点）となっており、活動体制は下図の通りです

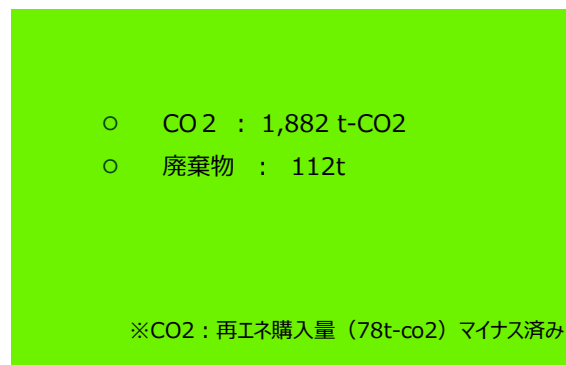


## 環境負荷データ

### 使用量 (INPUT)

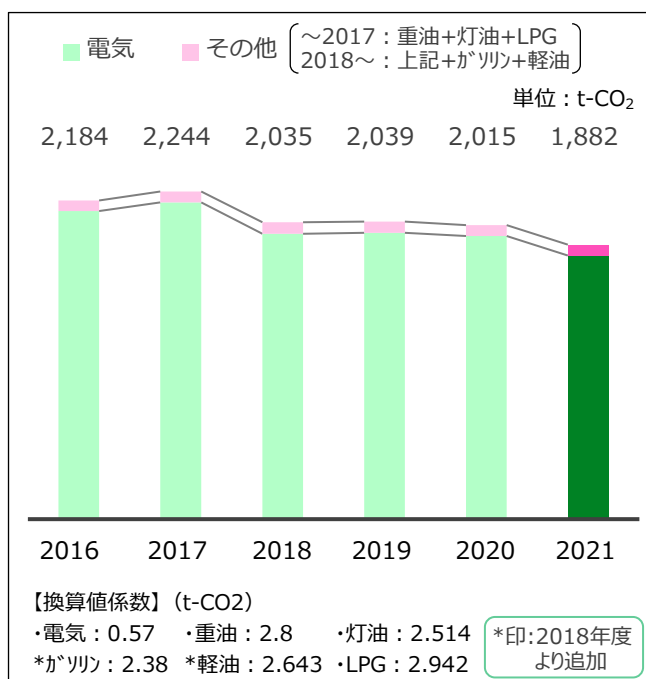


### 排出量 (OUTPUT)

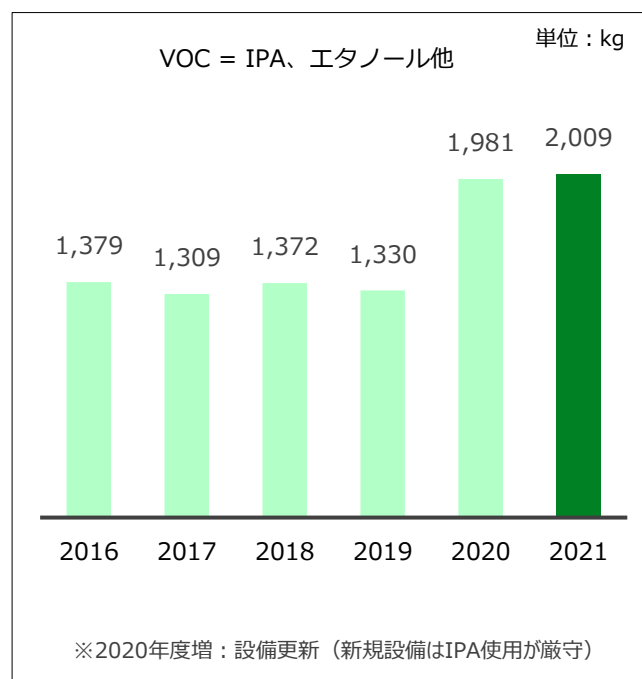


## 環境負荷データの経年推移 (主要な取り組み事例)

### CO2排出量



### 揮発性有機化合物 (VOC) の購入量



#### ★ 再エネ購入 (2021年度より)

- 78t-co2を購入 (2021年度)

#### ★ 省エネ対策

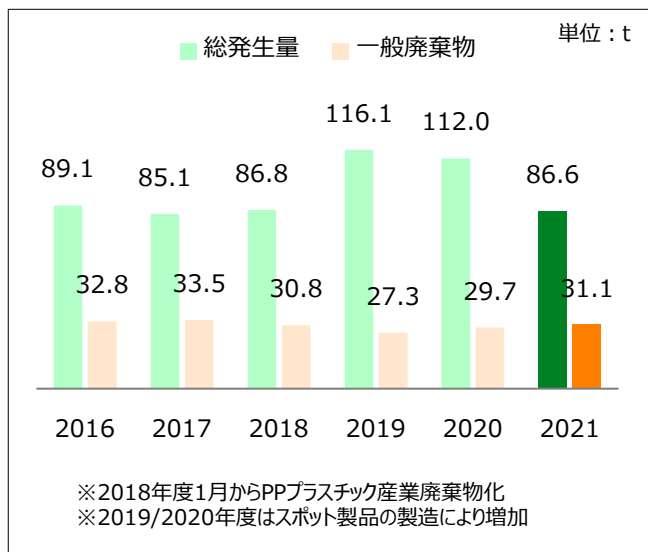
- 太陽光発電
- 設備更新時の省エネ機器への切替
- 建屋改修、遮光シートの設置 他

※詳細は2ページ参照

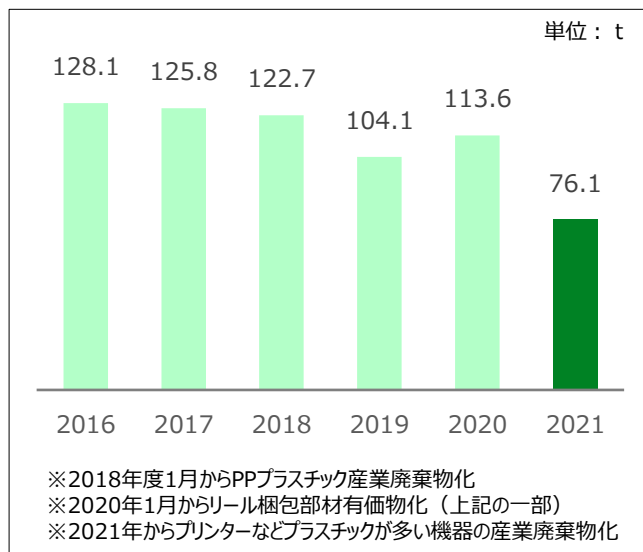
#### ★ VOC削減の取り組み

- IPA使用管理表の作成  
⇒異常値早期把握による改善推進
- かんぱん方式での購入量管理
- IPAからHA2789への切替の推進

■ 廃棄物



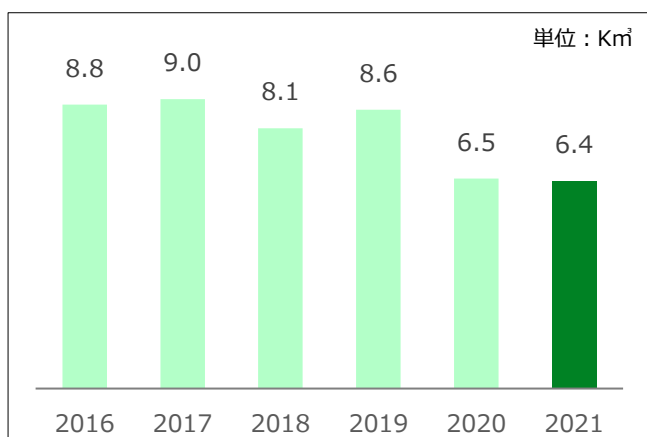
■ 有価物



★ 廃棄物削減への活動

- 分別の推進を基本の活動としています。
- 主な有価物については4ページをご参照ください。

■ 水の使用量



★ 上水のムダ排除

- 一部の鉢植えの花に雨水を利用した散水実施
- 構内法面花壇への的確な自動散水の実施
- トイレ用擬音装置（音姫）の設置・使用による節水

※工場用水は『0』 ほとんどが生活用水での使用



お問い合わせ先

富士通アイ・ネットワークシステムズ株式会社

環境施設管理部

〒400-0226 山梨県南アルプス市有野3346

TEL : 055-285-0383 FAX : 055-285-0314

発行責任者 多田 真敏

編集責任者 金丸 昇

発行年月日 2022年 6月 8日

記載事項対象期間 2021年4月～2022年3月

報告URL : <http://www.fujitsu.com/jp/finet/>